

第4回人間文化研究機構経営協議会議事概要

日時 平成17年2月28日(月) 14:00~15:05

場所 人間文化研究機構本部会議室

出席者 機構長、赤澤、大崎、平川、岩男、大原、川勝、久保木、須藤、高村、長野、芳賀、日高、福原、藤井、松野、吉岡

陪席者 事務局長、各機関管理部長、本部総務課長、同総務課長補佐、同企画係長、同広報・評価係長、同予算係長

概要

1. 議事に先立ち、総務課長から、本会議の成立要件が委員の過半数の出席を要し、本日は20名の委員のうち17名の出席があり、定足数を満たしている旨報告があった後、資料の確認がなされた。

2. 前回議事概要(案)について

総務課長から、前回議事概要(案)の朗読があり、了承された。

3. 審議事項

(1) 平成17年度予算編成の基本方針(案)について

事務局長から、資料2について機構予算規則第10条に基づき本会議に諮るもので、内容については国の平成17年度予算内示に基づいている旨の説明があり、審議の後、承された。

(2) 評価について

事務局長から、資料3-1、3-2、3-3に基づき、本機構における評価委員会の検討状況、スケジュール、要綱の制定等について説明があった。

続いて、大崎理事から機構評価委員会設置の経緯、各機関の評価委員会との関連、作業部会の実施状況について補足説明があり、国立大学法人評価委員会大学共同利用機関法人分科会の案をもって検討に入ることです承された。

なお、委員から評価のために要するコストはどのくらいか、評価委員は機構から提出される資料に頼らざるを得ないため、評価する側との意思疎通を図ったうえで自己点検を行い、整理した資料で検討されたい旨の意見があった。

4. 報告事項

(1) 年度計画の変更について及び(2) 中期計画の変更について

事務局長から、資料4及び5に基づき昨年の台風23号被害で災害復旧費が措置されたこ

とによる変更である旨の説明があった。

(2) 会計監査人の選任について

事務局長から、資料6に基づき監事の同意を得て大学共同利用機関法人の業務に精通していること等の理由により、新日本監査法人の選任を文部科学省に対して求めた旨の説明があり、委員から監査人については毎年度の見直しによる変更や、指定社員の変更による連続の選任ができるが、今後どの様な方針で行くのか検討されたい旨の意見があった。

(3) 平成17年度予算について

事務局長から、資料7、8、9に基づき機構予算の総額、特別教育研究経費、文部科学省から示された予算額の内容について報告があった。

また、資料10に基づき特別教育研究経費の中期目標、中期計画、年度計画との関連について報告があった。

(4) 会計関係諸規則の制定について

事務局長から、資料11に基づき会計実施規則、予算規則、契約事務取扱規則、政府調達事務取扱規則、固定資産取扱規則及び旅費取扱規則が、平成16年11月15日の役員会で了承され成立した旨の報告があった。

以 上